

9/20 (金) 冥福を祈り戦没者追悼式

戦没者を祭るやすらぎの丘（小堤地内）で戦没者追悼式が行われ、遺族の方々や関係者 153 名が出席し、黙とうと献花で戦没者に哀悼の意をささげ、平和を祈念しました。

茨城町遺族連合会会長の丸山昇一さんは、慰霊碑の前に「大戦の恐怖を風化させてはならない。」と恒久平和と不戦の誓いを新たにしました。

やすらぎの丘には、1,000 人を超える茨城町の戦没者が祭られています。



9/21 (土) 稲刈り体験&花巻き寿司作り

日本一を目指す米づくりプロジェクトチームを設置しているこだわり農業連絡協議会は 9 月 21 日（土）、生活協同組合パルシステム茨城と共催で稲刈り体験と花巻き寿司作りを行いました。

稲刈り体験の会場となったのは、同プロジェクトチームの清水正人さんが手がける、ほかし肥料を使ったこだわり農業の水田。約 50 名の親子連れが鎌で稲を刈る昔ながらの収穫方法で実りの秋を楽しみました。稲刈りの後は会場をパルシステム茨城みとセンター（桜の郷）にうつし、ブライト・リーダーとしても活躍している川又良枝さん（下石崎）指導のもと、花巻寿司を作りました。



茨城町産ブランド米「こだわり米「きらり」」完成！

前述の日本一を目指す米づくりプロジェクトチームでは、茨城町産のブランド米「こだわり米「きらり」」を 11 月からパルシステム茨城を通して販売開始いたします。

こだわり米「きらり」の特徴は、農業や化学肥料の使用を抑えた環境にやさしい栽培方法で栽培されたいばらきエコ農産物の認証を受けた米のなかでも、食味値が一定以上のものを出荷対象とした高品質、良食味のお米です。

茨城町産のブランド米をぜひご賞味ください。

9/27 (金) シルバーリハビリ体操 受講者一万人突破記念講演会

9 月 27 日、茨城町シルバーリハビリ体操指導士会は、シルバーリハビリ体操の受講者が 1 万人を突破したことを記念して、体操考案者の大田仁史先生を招いた講演会を、茨城町中央公民館大ホールにおいて開催しました。

講演会では、いわゆる団塊の世代が高齢者の仲間入りをしつつある今こそ、健康寿命（日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間）を延ばすことが大切であることを強調。その有効な対策の一つとしてシルバーリハビリ体操が紹介されました。ユーモアたっぷりに話を進める先生の講演に、約 400 人の参加者は終始笑顔でした。

講演終了後には、シルバーリハビリ体操の実技指導が行われ、参加者全員で体操を楽しみました。



9/22 (日) 高木英亮君 全国大会で準優勝

北海道で行われた全国道場少年剣道選手権大会において、「いばらき少年剣友会」の高木英亮君（梅香中学校 3 年）が、全国の強豪を相手に奮闘し、見事準優勝に輝きました。



9/9 (月) 健診結果説明会

健康増進課では、すべての町民が健やかで心豊かに生活できる、活力ある地域づくりを目指して、「いきいき健康づくり推進事業」を実施しています。

その事業の一環として行われている健診結果説明会では、特定健診受診者を対象に、健診結果の説明と保健指導・栄養指導を行っています。



この日、ゆうゆう館で行われた健診結果説明会には 89 名が参加。用語の説明や茨城町内の死亡原因の傾向として、脳卒中が多い（全国 9.9%、茨城町 13%）ことなどの説明があったあと、個別相談が行われました。個別相談では、血圧が高めの方には栄養士による減塩のすすめがあるなど、それぞれの結果にあった指導が行われました。参加者からは「健診結果の内容がよくわかった。」などとの声がありました。

9/12 (木) いつまでもお元気で百歳長寿お祝い訪問

老人の日（9 月 15 日）ならびに老人週間（9 月 15 日～21 日）を控え、小林町長は今年度百歳になれる方を訪問し、敬老の意を表し長寿をお祝いしました。

大正 2 年生まれ、小幡の時田あきさん（写真中央）は、長寿を祝う褒状や記念品とともに、町内の画家大和田あつ子さん（写真右）が描いた肖像画を受取り、「100 歳まで生きた。バンザーイ！」と笑顔を見せてくれました。また、中石崎の坂場茂さんは、長寿の秘訣を「くよくよしないこと、のんきでいること。」と教えてくれました。

町内で今年度百歳を迎えられる方は、9 月 1 日現在で 7 名（男性 1 名、女性 6 名）で、101 歳以上の方は 21 名（男性 2 名、女性 19 名）、最高齢者は 105 歳の女性が二人です。



※平成 13 年の老人福祉法の改正により、9 月 15 日が「老人の日」、同月 21 日までの 1 週間が「老人週間」と定められました。

9/12 (木) 茨城町ぶどう生産研究会による町長表敬訪問

9 月 12 日（木）、茨城町ぶどう生産研究会の奥谷利一会長など 5 名が役場を訪れ、「巨峰」「安芸クイーン」「ブラックビート」「藤稔」など旬を迎えた採れたての町内産ぶどうを PR しました。

茨城町ぶどう生産研究会は、町内外のぶどう生産者 9 名で組織され、毎年土壌診断や栽培講習会、品種検討会等を行い、品質の向上を図るとともに環境に配慮したぶどうの生産に取り組んでいます。

また、この日はゆうゆう館で品種検討会を開催し、主要品種の「巨峰」をはじめ、欧州系ぶどうの中でも人気を集める「シャインマスカット」「安芸クイーン」など 20 品種、合計 33 点のぶどうが持ち寄られ、ぶどうの形や色、味などについて比較検討し意見を交わしました。

今年は春先に低温や霜害に見舞われましたが、その後は天候に恵まれ糖度の高いぶどうができたとのこと。

